

分野：①自然への愛着

総合学習環境講座

持続可能な社会のために「樹に親しむ」

環境アドバイザー 谷合 宜明

対象 新座市立八石小学校5年2クラス（52人）

所要時間



45分（計90分）

場所 5年生教室

実施時期

令和2年11月19日

概要

樹木が自然界の中であって大事な働き—特にCO₂を吸収するという光合成—をおこなっていることに触れる。
うっかり見過ごしそうな身の回りの代表的な木にも詳しくなるように持っていく。

プログラムの
ねらい

葉っぱの特性を細かく観察することで身の回りに存在する木への理解を深め大切にすることを培うようにする。

プログラムの内容

1 動物・植物の循環の状況（15分）

- 循環を通してCO₂の出し入れの状況を把握させる。

2 好きな木を取りに来る（5分）

- あらかじめ準備した6種類の枝付き葉っぱの中から好きな葉っぱを席に持っていく
- 葉っぱの特徴表を渡す

3 観察開始（15分）

- 特徴表を見ながら準備した記入用紙に細かく記入する

4 全体に通じるまとめを行う（5分）

受講者の反応

身近にある木についても何も知らなかったが、今日はいくわしく知れてよかった。
光合成が温暖化対策になっていることを知りました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

